

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・年末年始にかけての動きは変わらず良くなっている。新首相による政策への期待、過去にない株高が消費力へプラスに働き、一段と良くなるとみている。期待感も含んでいるが、現状に鑑みて、良い方向へ伸びる要素は大いにある。
	◎	ゴルフ場（経営者）	・積極財政政策に期待している。
	○	百貨店（経理担当）	・物価高や米価の高止まり等で、依然として厳しい環境は続いている。政治が安定し、ガソリン税減税や生活支援政策が早急に進めば、消費拡大に期待できる。
	○	スーパー（副店長）	・多くの国民が新政権に期待し、少しずつ経済対策等の結果が出てくる。
	○	コンビニ（経営者）	・ガソリン価格が下がることに期待している。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・かなり寒くなってきて、当店の主力である日本酒が動く時期で、今後の売上は伸び、来客数も増えるとみている。ただし、格差がかなり広がっており、価格を抑えた商材を求める客は多い。高単価な商材を求める客が、売上を引っ張る状況である。全体的には米価が高くなっているため、今後は予断を許さない。
	○	一般レストラン（経営者）	・市長選挙、市議会議員補欠選挙等、地方選挙や国政選挙も一段落し、落ち着きを見せる。
	○	スナック（経営者）	・物価高に消費者が慣れてきている。物価が高いなりにお金が回り出している。高い物でもきちんと売っていればそれなりに売れる。恐らく景気は悪くないということではないかと考える。
	○	スナック（経営者）	・今月後半から団体客の来店が多少増えてきている。年末に向けて人が動き始めた様子が見受けられるため、今年の年末は期待できそうである。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・今月の動きが来月も続き、客の動きが良くなるとみている。現時点で11月の客室予約は前年同月を既に上回っている。これも新首相が就任し、国民の行動範囲が広がって、行動マインドが高まっているからかもしれない。また、今月もそうだが、当月に入ってから予約も増えている。来月もこのまま良くなっていきそうである。
	○	遊園地（職員）	・ドローンや花火のショー等、イベントの開催を控えているため、積極的な情報発信を行い、より多くの客の獲得につなげていきたい。
	○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・団体利用が増加傾向にある。
	○	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・新しい内閣に期待する。
	□	商店街（代表者）	・当店は今は小売販売よりは、学校指定用品の取扱が中心になっている。学校指定の物のため、買いに来てくれるが、今考えると、学校に営業活動をしておいて良かった。
	□	商店街（代表者）	・11月の値上げ通知は多少減っているが、12月からの食品、アルコール飲料等の値上げ通知がめじろ押しである。年末商戦に不安がある。

□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・省エネ基準の関係で、安価なエアコンが製造できなくなるため、エアコンの動きは出てくる。2027年には蛍光灯の製造終了もあるため、LED照明器具への移行も見受けられ、業界としては多少明るい兆しがある。全般的に消費者は、余計な出費は抑えている。
	百貨店（営業担当）	・新政権になって株価はかなり上がっているが、実体経済というか日常生活のなかでは、景気が良くなったという実感は一切なく、この状況は続くとみている。物価高が全く解消されていない。
	百貨店（店長）	・物価上昇などが消費動向に影響を及ぼすと予測する一方、年末年始商戦に向けては高級おせちなどの需要に期待できる面もある。
□	スーパー（経営者）	・株価急落と為替が急上昇しなければ、今の安定が続くとみている。

	□	スーパー（経営者）	・首相が変わり、物価高対策優先で仕事をしてくれそうなので、実現してもらいたい。加盟するスーパーチェーンの支店長が来店し、店頭販売の弁当、税別430円は、容器、米、調味料等の仕入価格が上がっているため、価格改定した方が良いとのアドバイスを受けた。価格を上げて販売数量は変わらないとのことなので、値上げしていきたい。
	□	スーパー（店長）	・物価高により、買物頻度は下がり、まとめ買いの傾向は続く。値上げにより客単価が上がっているため、数字的には良くみえるが、家計が豊かな状況とはいえない。
	□	コンビニ（経営者）	・10月に入ってやや寒い日もあるが、天候が良かったため、変わらない。11月に入っても、日によっては降雨等で厳しい面もあるが、前年と変わらない。
	□	コンビニ（エリア担当）	・可処分所得が増えない限り、景気は改善しない。
	□	コンビニ（店長）	・世の中ではいろいろなことがあり変化があるようだが、コンビニの通常業務には特別大きな変化があるわけではない。生活が余り変わらないため、若干ランクを落とす等、厳しい面が少しずつ出ており、やや悪い現状と余り変わらないとみている。
	□	家電量販店（店長）	・新政権での内需拡大政策を期待する。
	□	乗用車販売店（経営者）	・各メーカーからの新型車投入や大型見本市の開催など、新車需要の活性化が見込めるため、やや良くなってきた現状が続く。
	□	自動車備品販売店（従業員）	・物価高で厳しいからか低価格帯の販売が多く、景気が良くなっているとはいえない。
	□	高級レストラン（経営者）	・物価高騰が止まらず、全体的に消費が盛り上がっていない。新政権のインフレ対策も未知数で、しばらくはこのままの景気低迷が続く。
	□	一般レストラン（経営者）	・株価はどんどん上がっているものの、地方の一飲食店としては、好況感は全くない。
	□	観光型旅館（経営者）	・年末年始の客の動きが例年よりも遅い。今年も年末年始の休みが長いので期待をしているが、まだ動きが鈍い。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	・来客数の動きが多い状況が続いている。また、予約確定から宿泊までの期間や価格の中央値をみても下がっておらず、需要の下降はまだなさそうである。
	□	旅行代理店（副支店長）	・状況は変わらず、物価高により客の動きが鈍い。為替相場は円安が続いており、海外旅行も増加に転じない。年末年始の予約も低迷している。
	□	タクシー運転手	・今月から乗務員が1人増えたが、まだ人手は足りない。これから採用に力を入れなければならない。
	□	通信会社（社員）	・特に変化する材料はない。年末から年度末にかけての繁忙期の下地を作る期間になる。
	□	通信会社（社員）	・期待感はあるものの、現実之恩恵を受けるような雰囲気がない。
	□	観光名所（職員）	・先の団体予約はインバウンド、国内客共に比較的良好だが、個人客が減少傾向である。
	□	ゴルフ場（副支配人）	・物価高が改善される見込みがなく、出費を抑えようとする傾向は変わらない。
	▲	商店街（代表者）	・日中は来店客すら少ない。
	▲	コンビニ（経営者）	・工事需要も終わり、天候なども加味したらこれから下がっていくとみている。クリスマスはあるが、一時的なもののなので、そこまで大きく変わらない。世の中の景気が良くなれば変わってくるかもしれない。
	▲	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・人がいない。
	×	コンビニ（経営者）	・コンビニでは冬季期間は、来客数、販売数が共に悪くなる。
	×	コンビニ（経営者）	・悪くなるとみているが、先に期待もしている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	食料品製造業（製造担当）	・売上が落ち込んでいるスーパー主体の販売に出張販売を加え、利益率と売上が維持できるように仕向けている。出張販売の売上は伸びつつあり、今後も期待できそうである。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体の需給が回復し、やや良くなる。

	○	電気機械器具製造業（経営者）	・ 季節要因もあるが、年末年始に向けて売上が伸びる時期のため、期待できる。ただし、円安が再び進行し、調達価格の上昇が収益を圧迫することも予想される。
	○	金融業（経営企画担当）	・ 新政権による景気や物価対策の効果が出て、やや良くなる。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ 年末年始商戦もあり、今後数か月は現状同様に前年比で増加となることが予想される。
	□	食料品製造業（営業統括）	・ 11月には一部新酒が出回るが、消費者の購買意欲は落ち込んでおり、前年からの在庫も抱えているため、厳しい状況は続く。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・ 現在は受注があるものの、継続した受注が減少しているため、先行きが読めない。
	□	建設業（経営者）	・ 同業他社も同様に変わらない。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・ 原材料価格の高騰が続いているため、やや悪くなる。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 特注の話はあるものの、全く予想がつかない。
	▲	電気機械器具製造業（従業員）	・ 新築物件がないため、既存の改修工事を受注するようにしているが、使用部品の納期が工期より長いため、受注はなかなか難しい。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ 通常11月、12月は繁忙期で、商材を充実させるために小売店が仕入れを行う月である。しかし、小売店と話をする、デザインが新しくても価格の高い商材を仕入れるよりは、在庫セールで対応したいということで、仕入意欲がない。年末の盛り上がりがないと更に業況が悪くなる。
	▲	金融業（調査担当）	・ 企業の業況感は、製造業では米国の関税政策への不透明感が和らぎ、マイナス水準ではあるものの、僅かに改善している。一方、非製造業では人手不足やコスト増加の影響により悪化する見通しである。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 毎月の資金繰りが本当に大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	—	—
	□	職業安定所（職員）	・ 有効求人数が前年同月比で6.5%増加し、18か月ぶりに前年同月比で増加に転じている。
	□	職業安定所（職員）	・ 求人数に大きな変化がない。
	□	職業安定所（職員）	・ 諸物価の高止まりや最低賃金の引上げ等、企業マインドが好転する見通しが立ちにくく、直ちに景況感が改善する状況ではない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・ 求人をけん引する製造業では、円安による原材料の輸入価格高騰に四苦八苦している企業が大変多く、業績不安が続いている。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・ 政治等が不安定ななか、現状の景気は続く。
	▲	職業安定所（職員）	・ 中国の景気が低迷していることに加え、米国政権の相互関税政策が今後の日本経済にどの程度影響を及ぼすか不透明であり、日本企業の収益悪化が懸念される。
	×	—	—